

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
九州福山通運株式会社福岡支店倉庫・整備工場

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						3.0	
Q1 室内環境			0.30				3.3		
1 音環境		3.0	0.15	-	-		3.0		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-				
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-		3.0		
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-				
1 室温		3.0	0.38	3.0	-				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-				
3 光・視環境		3.1	0.25	-	-		3.1		
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-				
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-				
2 方位別開口		-	-	3.0	-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-				
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-				
3.3 照度	事務所 600lx以上	4.0	0.15	3.0	-				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-				
4 空気質環境		4.1	0.25	-	-		4.1		
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	すべて☆☆☆☆ とします	5.0	1.00	3.0	-				
4.2 換気		3.3	0.30	-	-				
1 換気量	事務所必要換気量の1.25倍	4.0	0.33	3.0	-				
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-				
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		2.9		
1 機能性		2.8	0.40	-	-		2.8		
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-				
1 広さ・収納性	事務室OAフロア テナント毎にEPS設置	3.0	0.33	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-				
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-				
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-				
1 広さ感・景観	事務室天井高さ2700	4.0	0.33	3.0	-				
2 リフレッシュスペース	事務室の70%の休憩室設置	3.0	0.33	-	-				
3 内装計画		3.0	0.33	-	-				
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	建物内外装材は高耐久性のものを選定	3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保	水廻り床下に配管ビット設置	3.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-		2.9		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-				
3 電気設備	キュービクル基礎高上げし、非常用発電機設置	4.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備	精密機器はGL+1000以上の高さに設置	2.0	0.20	-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.1</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>	BPI: 0.73		<b>5.0</b>	0.01	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.12	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 0.61		<b>4.9</b>	0.62	-	-	<b>4.9</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>2.2</b>	0.20	-	-	<b>2.2</b>
1.1 節水	節水型便器の採用		<b>1.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.8</b>	0.60	-	-	<b>3.8</b>
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生加熱アスファルト:外構舗装、ビニル系床材:廊下床仕上、0Aフロ		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨造、内壁乾式なため仕上材と躯体が容易に分別可能		5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.6</b>	0.20	-	-	<b>3.6</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用	全ての材料に有害物質含まない		<b>5.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>	外壁、屋根の断熱、太陽光パネル設置にてCO2削減		<b>3.8</b>	0.33	-	-	<b>3.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.2</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	荷捌きスペース、大型駐車場、普通駐車場、駐輪場設置		4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	廃棄物コンテナおよび分別回収BOX設置		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	